

西原小だより

学校だより
12月号

在籍児童数

12月1日現在
1年 37名
2年 37名
3年 29名
4年 38名
5年 29名
6年 36名
つばさ学級 6名
合計 212名

★校内音楽会

11月4・5日、3年ぶりの全校校内音楽会が行われました。4日は校内音楽会として、5日は保護者への公開音楽会として実施しました。コロナウイルス感染防止の観点から保護者の皆様は1名のみ参加とご不便をおかけしました。未就学児の対応ができない保護者の皆様には急遽、図工室でのライブ配信の場を設けました。

当日はどの学年も見事な演奏を体育館に響かせてくれました。特に6年生の演奏ではさすが上級生という美しく迫力ある演奏が奏でられました。また多くの子どもたちは家族をはじめ多くの人に見られているという心地よい緊張感を覚えながら今まで一番の演奏をしていました。多くの人に見られるという体験は子どもたちの成長には欠かせないものと感じました。後日ホームページ上で配信を行います。撮影・編集等にご協力をいただいた保護者の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

(テーマ)

- 『みんなの音と心を合わせて合奏をつくりあげよう』
- 1年 合奏「こいぬのマーチ」
- 2年 合奏「ドレミの歌」
- 3年 合奏「パフ」
リコーダー奏「笛星人」
- 4年 合奏「アイライクエリーゼ」
- 5年 合奏「風になりたい」
- 6年 合奏「RPG」

空気感

校長 山崎 祐一

学校に出入りするある業者の方と話す機会がありました。それぞれの学校を訪問するとその学校の敷地内に入っただけでどんな学校かわかると言います。先生方が協力して順調に教育活動を進めている学校と何か問題を抱えている学校とは校門を入っただけで分かると言います。空気感が違うそうです。

私の友人が都内で塾を経営しています。彼はこう言います。「毎年多くの子どもたちが塾に入ってきます。しかしすぐはこの子は伸びる子この子は合格する子だと分かる」と言います。逆に成績が伸びない子や合格がイメージできない子も分かるそうです。それはその子が醸し出す雰囲気が違うそうです。形として存在しないこの空気感や雰囲気とはいったい何なのでしょうか。

「校長先生、そろそろ学習塾に通わせ方が良いでしょうか」という質問をよく受けます。今までは「個人差がありますね・」と答えていました。しかしこの個人差を説明する事はほとんどありませんでした。その差とは言葉では表

現しづらいこの空気感や雰囲気です。

我が子を学習塾に通わせる親御さんの誰もが学力をつけてほしいと願っている、高い授業料を払って我が子を通わせませす。子どもたちは疲れていても帰宅後や休日にも塾で勉強を続けます。親御さんの中には家でゴロゴロするよりは塾にでも行く方がよいと思っ通わせる人もいます。また親が言うから嫌々塾に通うという子もいます。これでは目的と手段が逆です。学習塾は学力向上や進路実現のために通うのであって塾に通う事が目的ではありません。塾という手段が目的となつては、子どもの心にやる気や向上心は湧きません。心が伴わない学習塾通いは学力が向上するはずはないのです。

空気感や雰囲気といつてもとても曖昧で形のないものです。しかし形はなくてもその人の心の姿が大きく係っている事だけは確かです。やる気や向上心という熱量のある心は不思議と言動に表れて周囲に伝播します。業者さんが校門に入っただけで感じた空気感や雰囲気の違いは、その学校の子どもたちや教職員の教育活動に向ける心の熱量の違いだと思っす。どんな立派な塾や学校に通つても心に熱量がないと効果は出ません。

時として幼い子どもたちは驚くような才能を発揮します。ある分野や事象に大人顔負けの知識や理解を持つ子がい

ます。電車・車・昆虫・英語・将棋・パソコン・ゲーム・子どもは好きな事に出会おうと夢中で学ぼうとします。身近にも電車名を全て言い当てる「鉄道博士」の様な子もいますよね。そんな子どもたちは大人の考えを遥かに超越した力を発揮してぐんぐん成長します。例えば九は二の段から順番に学ぶべきと大人は考えますが、子どもは二の段の次に九の段でも簡単に覚えてしまします。「わかった・嬉しい・もつと知りたい」を生み出す空気感が子ども心に熱量を与える事を忘れずにいたいものです。

小学生までは知的好奇心を揺さぶる土壌を創る事です。その土壌とは子どもを褒めて認める温かな空気感や雰囲気です。どんなに忙しくても親や家族は子どもの声に耳を傾け笑顔で認め励まし、心が休まる空間を家庭内に創りたいですね。心が休まり自分は愛されていると感じた子は不思議と勉強を始めます。私たちは学力を向上させようと形あるもの(塾やICT機器等)に頼りがちです。しかし本当に大切なものは子ども心の熱量を高める温かな家庭の空気感や雰囲気だと確信しています。

★3年生福祉学習

11月11日(金) 3年生を対象に盲導犬への理解を深めるために盲導犬ユーザーの内藤夏子様をお招きして盲導犬への理解を深める学習を行いました。3年生たちは内藤様の話に真剣に耳を傾けていました。心のバリアフリーの大切さも学んだ学習でした。

★2年生まち探検

11月11日(金) 秋晴れの中2年生は先月に引き続き10名を超える保護者の皆様のご協力の中、2度目のまち探検に行きました。子どもたちは班ごとに分かれて探検場所に向かいました。貴重な学習の場を提供していただきました地域の皆様に深く感謝申し上げます。

★2年生の校外学習

11月9日(水) 2年生は校外学習で鉄道博物館に行きました。無言での昼食時の立派な態度など事前の指導をよく守った2年生たちでした。様々な鉄道に目を輝かせた2年生は班や学級の団結も学び、楽しくも一回り大きく成長しました。

★4年生の社会科見学

11月18日(金) 社会科見学の一環として三富新田へ行きました。江戸時代に開拓された貴重な三富新田を学ぶ事で先人たちの努力や苦勞が学べる貴重な体験をしました。

★3年生社会科見学

11月29日(火) 3年生は消防署の見学に行きました。当日は施設内の見学や体験そして担当者からの説明を聞きながら消防署の役割や仕事内容を学びました。真剣に話を聞いている3年生たちでした。

★学校歯科保健指導

11月9日(水) 学校歯科衛生士の西島真弓様と大野亜矢様が来校して1・4年生とつばさ学級の子どもたちに嘔む事の大切さや虫歯予防の指導をしていただきました。歯は一生の財産です。子どもたちは講師の先生の話に熱心に耳を傾けていました。

★つばさ学級校外学習

11月25日(金) 都内への校外学習に行きました。特にサンシャイン水族館では子どもたちの表情が輝いていました。今回の校外学習では施設見学だけでなく、電車の乗り方や切符の買い方等も学ぶ良い機会となりました。充実した一日となりました。

★花の植え替え

10月27日(木) 5・6年生の飼育園芸委員、保護者や地域の皆様と一緒に円形花壇を中心に花の植え替えを行いました。パンジーやビオラが晩秋の太陽の光を浴びて輝いています。校地内の花々も秋・冬モードに切り替わりました。

★ふじみ野市防災訓練

11月13日(日) ふじみ野市全体で防災訓練を実施しました。当日は亀久保町会様と学園町会様から住民の皆様が参加し、学校と地域と行政が一体となった防災訓練を行いました。日頃の備えの大切さを学びました。

★食育授業

11月8日より複数回、本校職員でおおぞら学校給食センターに勤務する学校栄養教諭の小峯先生が「食育」に関する指導を5・6年生に行いました。普段当たり前に食事をしている中、大変貴重な情報や知識を得る機会となりました。

★教育相談週間

11月8日(火) より保護者の方々と担任との面談を本校で実施しました。コロナ禍で様々な活動に保護者の皆様の来校に制限が加わる中、子どもたちの様子を学校と保護者が共有し協力する大切な場となりました。

★地域貢献

11月6日、校長が西鶴ヶ岡町会主催の秋の園遊会に参加して手品を披露してきました。当日は晴天に恵まれ、地域の老若男女の皆様が一堂に介した素敵な園遊会でした。地域に貢献できて嬉しかったです。

★12・1月の学校等の予定

- 1日(木) 歯科健康教育(6年)・委員会活動・タブレット学習日
- 2日(金) 地域合同某班会議(大井西中) 授業参観懇談会(12年)
- 5日(月) 授業参観懇談会(56年・つばさ学級)・読み聞かせ
- 6日(火) 体育朝会・フレッシュサポーター来校
- 7日(水) 薬物乱用防止教室(6年)・児童集会
- 8日(木) クラブ活動・ともしび号来校タブレット学習日
- 9日(金) 図書貸し出し終了日
- 12日(月) 児童集会・PTA登校指導
- 13日(火) 美化活動・フレッシュサポーター来校
- 14日(水) 西原タイム・さわやか相談員来校
- 15日(木) 賞状伝達・タブレット学習日
- 19日(月) 短縮④
- 20日(火) 短縮④・フレッシュサポーター来校
- 21日(水) 短縮④・給食最終日
- 22日(木) 短縮③・一斉下校・タブレット学習日
- 23日(金) 2学期終業式・短縮③・スクールカウンセラー来校
- 1月10日(火) 3学期始業式

★ホームページのご高覧を・・・

学校だよりだけでは伝えきれない内容を写真付きでホームページに掲載しています。学級だよりや学校だよりと併せてご高覧いただけましたら嬉しいです

